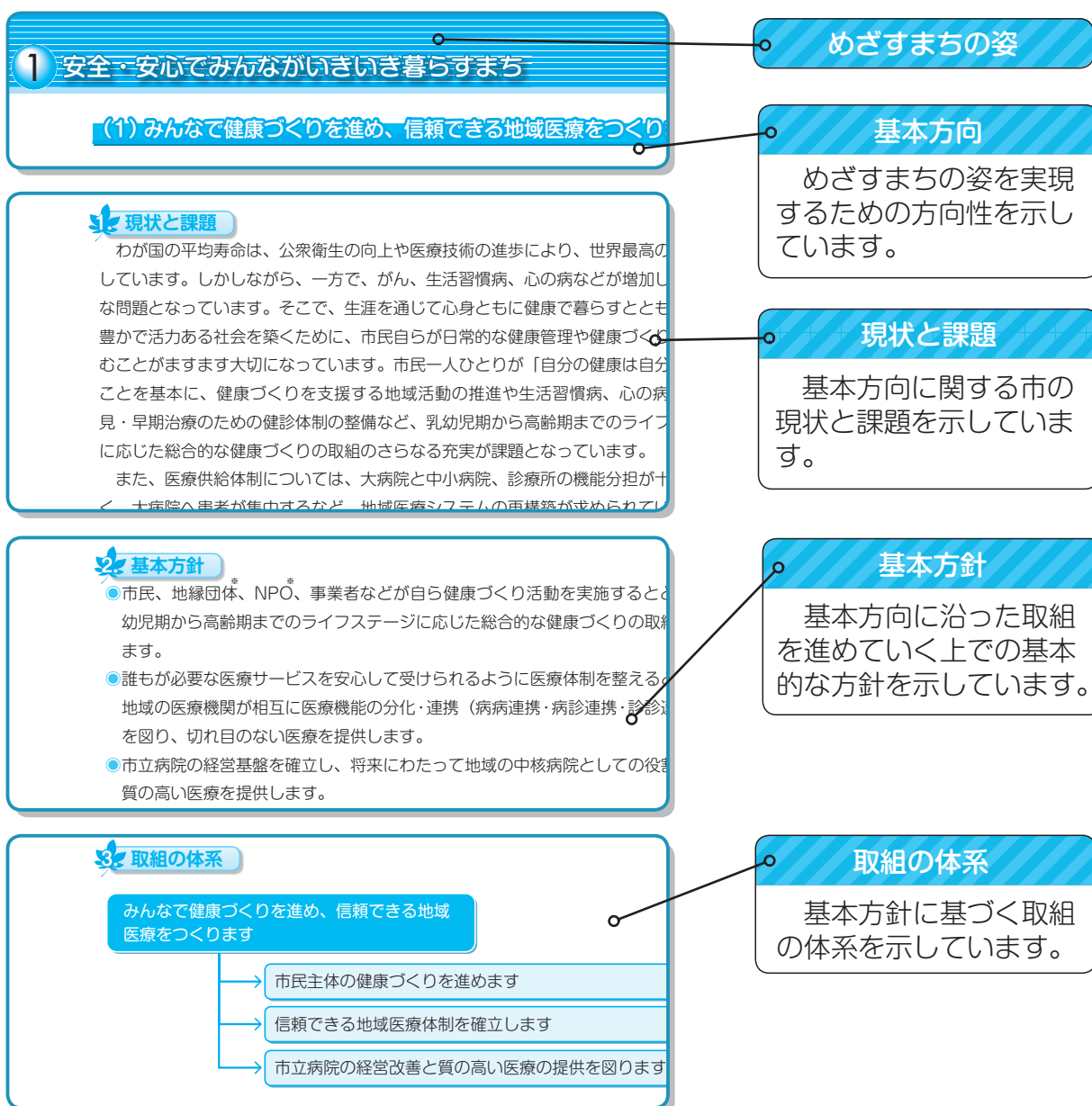


第4章 分野別計画

第4章では、5つのまちの姿を実現するための取組を19の基本方向ごとに示します。すべての主体が目標を共有し、協働のまちづくりを進めていくため、以下のとおり構成します。

本計画では、「参画と協働のまちづくり」と「新たな地域経営によるまちづくり」を基本方針として、多様な主体が公共を担うという考えから、「4. 各主体の主な役割」や「5. 成果指標」の主役度を記述しています。これらは市民の義務として設定するものではなく、行政が責任を果たすのはもちろん、多様な主体が自ら積極的に取り組むことによって、魅力あるまちづくりを進めるためのものです。



(取組の内容)

①市民主体の健康づくりを進めます

市民が自らの健康を積極的に維持・増進する健康づくり運動を市民と行政が連携して広げることによって、心身の健康づくりや介護予防に対する市民意識の向上を図るとともに、地域の特色を生かした健康づくりを進めます。また、乳幼児期から高齢期までのライフステージに応じたきめ細かな健康相談、健康教育、健康診査などの環境整備に取り組むとともに、その根幹となる食育の推進に努めます。

②信頼できる地域医療体制を確立します

救急医療の充実や、医療の役割分担による診療機能の充実など、地域医療の基盤整



各主体の主な役割

【市民】

- 市民一人ひとりが、健康に関心をもち、自分の健康を自分で守る健康づくり運動に積極的に取り組みます。
- 地域での医療サービスの供給体制を認識し、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師を適切に確保するなど、自分の病状に適した医療機関を利用します。

【自治会やNPOなど】

- 身近な場所で、みんなで支え合いながら、健康づくりを進めます。
- 地域での健康づくりを推進するため、健康教室などを開催します。



成果指標

	成果指標名	主役度	現状値	目標値	目標値
			2008(平成20)年度	2015(平成27)年度	2020(平成32)年度
1	自分が健康であると感じる市民の割合	市民 ★★★★★ 事業者 ★★★★★ 行政 ★★★★★	77%	79%	81%
2	健康診査を年1回受けている市民の割合	市民 ★★★★★ 事業者 ★★★★★ 行政 ★★★★★	71%	73%	75%
3	かかりつけ医を持っている市民の割合	市民 ★★★★★ 事業者 ★★★★★ 行政 ★★★★★	68%	72%	75%
4	市立病院の救急医療に関する不満足度	市民 ★★★★★ 事業者 ★★★★★ 行政 ★★★★★	19.5%	18%	17%
5	市立病院の外来患者紹介率	市民 ★★★★★ 事業者 ★★★★★ 行政 ★★★★★	40%	47%	50%
6	市立病院の経常収支比率	市民 ★★★★★ 事業者 ★★★★★ 行政 ★★★★★	95.7%	98.8%	101.2%

【成果指標設定の考え方】

- 主観的健康感(疾病の有無にかかわらず、自分は健康であると思う度合い)が高い人ほど生存率が高いという相関関係が示されていることから、その割合を指標とし、健康増進に努める。前後期で2ポイントずつ増加することを目標とし、最終目標値を81%とする。

【関連計画】

- 健康みのお21
- 箕面市特定健康診査等実施計画
- 箕面市立病院改革プラン

取組の内容

取組の内容を記載しています。

各主体の主な役割

協働によるまちづくりの指針として、各主体別に課題解決のために担う役割を示しています。

成果指標

めざすまちの姿の実現に向けて目標を明確にし、その達成状況を評価するための成果指標を示しています。

主役度

各成果指標に対応する取組を進めていくために、各主体がどれだけその役割を果たさなければならないかを3段階で表しています。ここでは、「4. 各主体の主な役割」における【市民】と【自治会やNPOなど】を合わせて市民としています。

成果指標設定の考え方

指標設定の根拠を示しています。

関連計画

関連する個別計画を示しています。